

デジタルスキルの高い人材を育成し地域活性化をめざす 恵那市の未来を切り拓く鍵となる「2つの事業」とは

行政DX通信note版では
さらに詳しい内容を
お伝えしております



岐阜県恵那市では、地域全体のDX人材育成を目的とした「恵那市民ICTスキル向上事業」と、若い世代の地域への定着を促す「恵那未来キャンパス」という2つの事業を実施しています。これらの事業でUdemy Business(以下、Udemy)を活用して感じたメリットや、恵那市がめざす未来の姿について伺いました。

市民・企業・行政のDX活用を総合的に推進する「恵那市民ICTスキル向上事業」

小林:「恵那市民ICTスキル向上事業」は、市民・企業・行政が一体となって、恵那市全体でDX化に取り組むための事業です。近年のコロナ禍で生活様式や働き方が大きく変化し、社会全体でデジタル化が求められるようになりました。そこへ対応するには、行政だけでなく市民や企業も最先端のデジタルスキルを学ぶことが急務です。

「恵那市民ICTスキル向上事業」では、eラーニングのUdemyを市民と企業向けに提供しています。多くの人に学んでもらうため、市民50人・企業300人の枠を設けてUdemyの講座を視聴できるようにしました。

後藤:Udemyは内容が非常に幅広く、いつでもどこでも学べるところが最大のメリットです。当初は若い世代の申し込みが多いと予想していましたが、実際には50代や60代の方も多く申し込みをいただき、様々な世代でオンライン講座に関心が高まっていると実感しています。



恵那市まちづくり企画部
情報政策課 課長
小林 浩樹さん
1994年、恵那市役所入庁。
市民課、企画課、税務課、総務課、
学校教育課等を歴任し、2022年
より現職。



恵那市まちづくり企画部
SDGs推進室 副室長
後藤 弘明さん
2000年、岩村町役場入庁。2004
年、恵那市に市町村合併、建設課、
家畜診療所、幼児教育課、民間研修
等を経て、2022年より現職。

オンラインとリアルをつなぐ独自の工夫で、Udemyの学びの継続をサポート

小林:受講者の募集は、チラシの配布やポスター掲示、ホームページへの掲載はもちろん、地元の高校や商工会議所の担当者から話を広げてもらうことにも取り組みました。ただ、予想に反して企業からの受講者が少なかった点は課題となりました。恵那市は小規模な企業が多く、人員不足によって研修時間が確保できないのが要因にあるのではと考えます。今後はこういった形で企業に学びを取り入れてもらうかを検討する予定です。

後藤:市民の参加状況は、すでに100時間以上Udemyを視聴した方もいる一方で、まだ学習が進んでいない方もいるのが現状です。「恵那市民ICTスキル向上事業」は2022年にスタートしたばかり

ですので、「まずはやってみよう」と参加した方も多かったと思います。せっかく興味を持ってくださったのですから、継続した学びを定着させるのが重要だと考えます。

小林:学びを継続させるためには、やはり目的意識を持つことが必要です。本事業では継続した学びを促すため、オンラインに加えてリアルな交流の場である「Udemyコミュニティ」を設けました。月に2回ほどのペースで、受講者同士が交流できる場を提供しています。まだ限られた方しかご利用いただけていないため、運営方法に課題は残っているものの、これは今後も工夫しながら継続したい取り組みです。

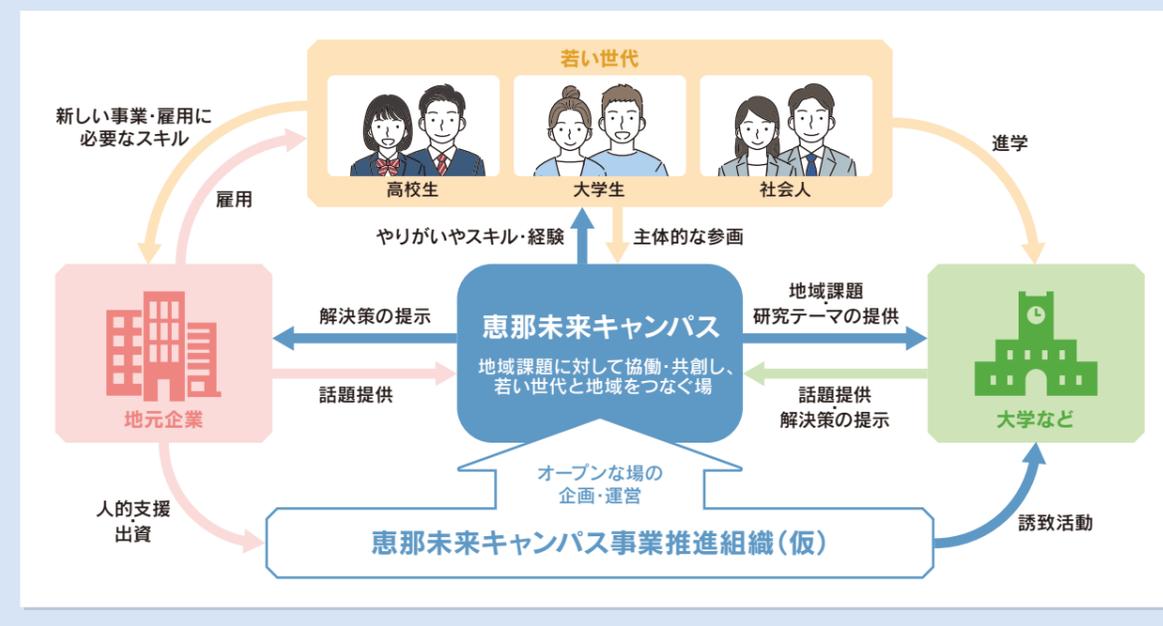
恵那市の未来をつくる人材を育てたい! 「恵那未来キャンパス」とは

後藤:恵那市では、かねてより18~22歳までの若年世代が市外へ流出してしまうことが課題で、まちの活力低下や企業の人材不足などの大きな要因でした。その解決に向けて、2021年度に市内の産業界をはじめとする有識者の皆さんと教育関係者で、検討委員会を立ち上げました。

若者を対象としたアンケートや大学への聞き取り調査を行い、実証実験も交えながら検討を重ね、恵那市の未来をつくる人材を

育てるための「恵那未来キャンパス構想」を策定しました。この構想は若い世代と地域とを繋ぎ、様々なスキルや経験が得られる学びの場を創出することをめざしています。若者だけでなく、地元の企業や大学と共に作り上げることで具体的な解決につながり、さらに地域との結びつきが深まります。将来的には「恵那未来キャンパス」が地域の好循環の原動力になることも期待しています。

● 恵那未来キャンパスの事業イメージ



企業との連携を通して学生や若者に地域の魅力を発信する

後藤:検討委員会では、どの企業にいても役立つデジタルスキルの習得が重要だという話が出ました。地元企業の成長には、やはり若手のスキルアップは欠かせません。また、まだ若い人たちが知らない魅力的な企業は恵那市にもたくさんあります。そういった企業の良さを発掘して発信するために、商工会議所や青年会議所に声をかけ、積極的に関わっていただけるように動いています。

2021年度から2022年度にかけては、実証実験や様々な講座の開催で高校生・大学生・社会人の学びを推進してきました。そして2023年3月には、Udemyとランサーズを活用し、「“学ぶ”と“稼ぐ”をつなぐ教育プログラム」を実施します。これは未経験でもフリーランスで稼ぐ力を身につける実践講座です。こうした取り組みを通して、幅広い学びの創出を図ることを考えています。

若い世代に選ばれる地域づくりをめざして

後藤:「恵那市民ICTスキル向上事業」の受講者の中でも印象的だったのは、育休中の女性が学んでいらっやったことです。「職場復帰が近づいているのでUdemyでスキルを高めたい」という話をしていました。育休後の職場復帰の支援は、さらなる女性活躍推進につながりますし、若い世代の職場定着にも良い影響があります。次年度以降、市民の学びのニーズをさらに把握していくことで、より幅広い人たちに学んでいただけるよう取り組みを広げたいと思います。

小林:「恵那市民ICTスキル向上事業」や「恵那未来キャンパス」はスタートしたばかりで、まだまだ課題はあります。2つの事業をうまく連携しながら、一つひとつ課題に着手して多くの方が学べる施策を実施したいと思います。受講者同士の交流として、Udemyで学んでいる内容や自分の仕事・将来との関係性について話せる場はぜひ設けたいです。今後はオープンチャットの活用や、バーチャル空間での交流なども視野に入れながら検討を進めます。そして地元の学生や若手社会人がしっかりとスキルを身につけ、恵那市でやりがいある仕事に就き定着することで、地域の活性化を図っていきます。